

平成28年10月17日

堤防や橋脚の安全性を確保します

～花咲大橋から永山橋までの河道再生工事のお知らせ～

旭川開発建設部では、堤防や橋脚の安全性確保のため、河道の再生工事を実施しております。今年度の実施内容について、お知らせします。

【河道再生の必要性】

近年、石狩川の花咲大橋から永山橋までの区間では、河床や河岸の浸食により、河岸保護工の損傷、堤防や橋脚などの安全度が低下している箇所があります。

このような箇所の対策として、平成26年度から、川幅を広げ水の流れを緩やかにしたり、河床が深く掘れた箇所に土砂を埋めて復元するなどの河道を再生する工事を実施しています。

今年度は、秋月橋下流の約0.4kmの区間において工事を実施しております。

【工事概要】

工事区間：秋月橋下流における約0.4km

工事期間：平成28年8月6日～平成29年3月21日

実施内容：川幅が比較的狭い箇所を拡幅

河床が深く掘れた箇所を埋めて復元

河岸保護工の復旧 など

【期待される効果】

- ・河床や河岸の安定化による堤防、橋脚などの安全性の確保
- ・礫川原の復元による魚類の生息環境の改善

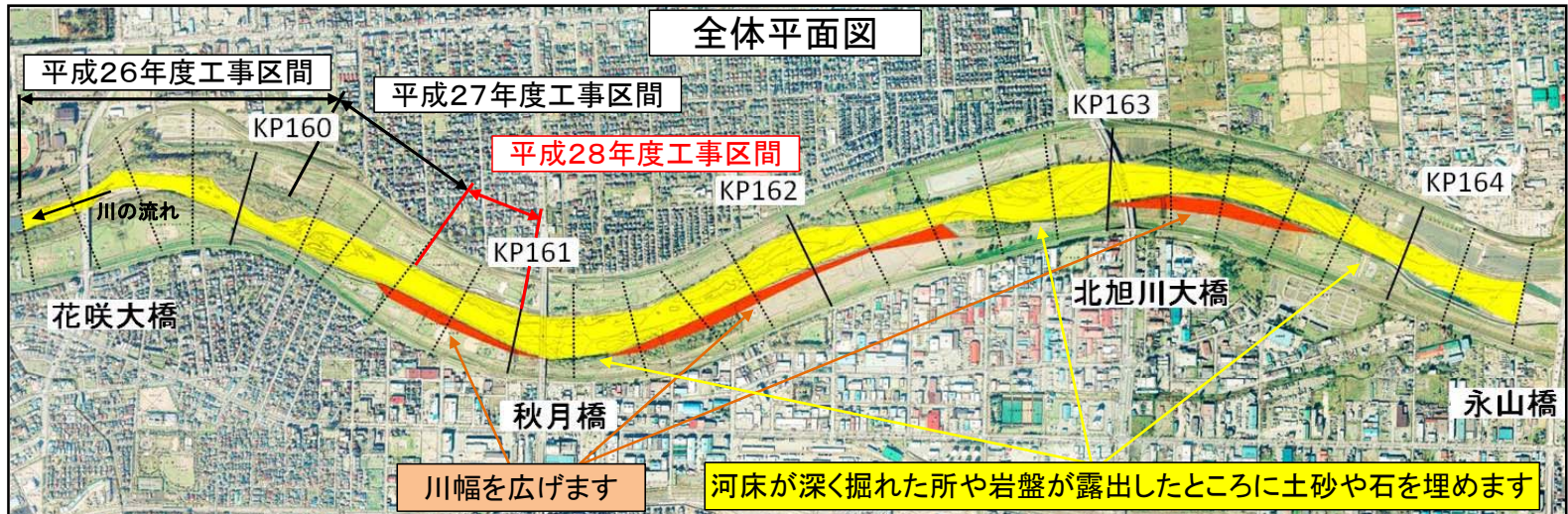
※詳細については、別紙を参照願います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 旭川河川事務所

第1工務課長 課長 もとやま元山 とおる達 (0166-48-2131 内線351)

流域計画官 やまぐち山口 まさし昌志 (0166-48-2131 内線312)

◇河道を再生する工事を実施◇ ～堤防、橋脚などの安全性確保のため～



【事業概要】

- ◇目的 河床や河岸の浸食により、河岸保護工の損傷、堤防や橋脚などの安全度が低下している箇所があり、これ以上進むと堤防を守るための河岸保護工が壊れ、洪水時に堤防の決壊につながるおそれがあります。災害を未然に防ぐために岩盤が露出しているところを土砂や石で埋めて、礫川原を復元する工事を行います。工事にあたっては魚類などの生息環境にも配慮し進めていきます。
- ◇区間 花咲大橋下流～永山橋下流 (KP159.2～KP164.4) の約5.2km (全体平面図の黄色部分)
- ◇概要
 - ①川幅の狭いところや中州に高く堆積している土砂を掘削して川幅を広げ、水の流れを緩やかにします
 - ②掘削した土砂で、河床が深く掘れた箇所や岩盤露出箇所を埋めます
 - ③河岸保護工の復旧を行います
 - ④掘削や河岸保護工の復旧箇所に繁茂している樹木は、連続性に配慮しつつ伐採をします
- ◇効果
 - 河床や河岸の安定化による堤防、橋脚などの安全性の確保
 - 礫川原の復元による魚類の生息環境の改善

当該区間における現状



工事にあたっての配慮

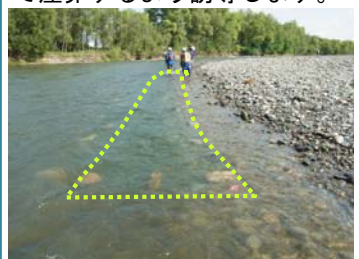
濁水対策

汚濁処理施設を設置し、濁水対策を行います



魚類への配慮

産卵したサケの卵を工事で壊さないように事前にネットを張ることにより、工事区間で産卵するよう誘導します。

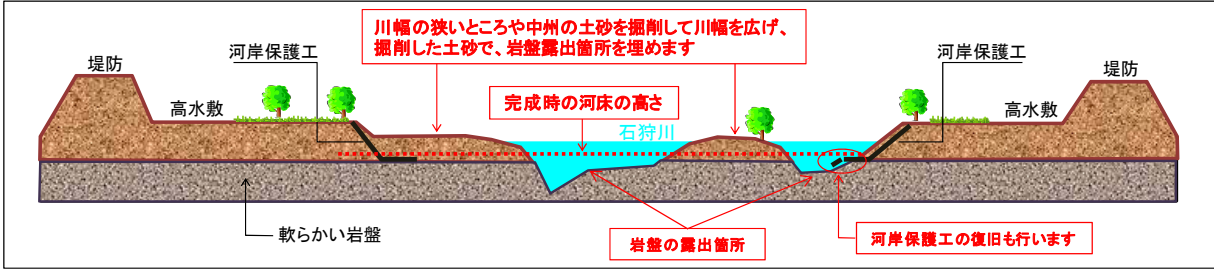


緑の部分の河底にネットが設置されている

【平成28年度工事概要】

- ◇区間 秋月橋下流 (KP160.6～KP161.0) の約0.4km (全体平面図の赤色の旗上げ区間)
- ◇概要 上記事業概要の①～④を行います。工事にあたっての配慮として、魚類の生息環境調査を実施し、事前に専門家の意見を伺い、濁水対策の実施や魚類が工事区間で産卵するよう誘導します。今年度工事のイメージは下図を参照して下さい

●現状と施工のイメージ図



●工事完成後のイメージ図

